



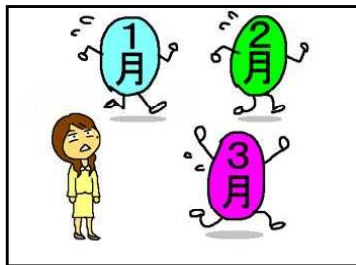
校長室だより 2月号
2024.2.6
<求めてやまぬ心>
・思いやりと温かな心
・言葉で伝え心で聴く
・自ら主体的に行動



2月になり、もう2週目となりました。先週の集会でも話をしましたが、みなさんが1年生、2年生、そして中学生として、仲間と学校で過ごす日数は、あとわずかです。この残された日々が、みなさんのこれからの人生に大きな影響を与えることは間違いありません。確かに多くはないですが、それでも「まだある！」です。前を向いて、「なりたい自分の実現」に向けて努力していきましょう。

それにしても、とりわけ3学期は時間が早く過ぎていくような気がしませんか？昔から、この年明けからの3か月のことを「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言います。おそらく、時間が足りないと思うくらいに、

「やらなければならないことがある」といふことだと私は思っています。



4月からの学校生活で積み上げてきたものを確認して、来年度、より良い自分をスタートさせるために、振り返ったり、目標を定めたり、準備したり…。忙しいのは当たり前ですね。だからこそ、今やるべきこと、今やらなければならないことを自分でしっかりと意識して、限られた時間を有効に使ってほしいと思います。

箱根駅伝を見て

1月2・3日に行われた箱根駅伝。地震

で大変な中でしたが、しばらくテレビ中継を見ることができました。毎年、たくさんの感動を与えてくれる箱根駅伝。今年もたくさんのドラマがあり、競技者として多くのことを学ぶことができました。

しかし、ひとつ悲しいことがありました。今大会ではコロナ禍明けで初めて声出し応援や集団応援が認められ、沿道で



多くの人が全力で走り抜ける選手に心を込めた応援を行っていました。

その様子を見て、心が温かくなっていたその時でした。ほとんどの人が視線を選手に向けて応援している中で、明らかに違う方向、すなわちテレビカメラの方を向いて、何やらアピールをしている人が大きく映り込んだのです。私は悲しくなりました。「この人は選手の全身全霊をかけた頑張りを感じ取ることができないかわいそうな人なんだな」「自分が目立つために選手の頑張りを見せたいにしていることに気づけないんだな」と。

頑張っている人を心から応援できる。今、ここでは何をすべきかを間違えない人にならなければならない。とあらためて教えられた場面でした。

2月の心のテーマ
「困難を乗り越える強い気持ちをもとう」

目標に向かって、一歩ずつ、諦めずに前に進もう。仲間と支え合って、前へ！